イラン・パキスタン国境付近でＭ７．８

4 月 16 日 23 時 25 分

イランとパキスタンの国境付近で１６日午後、マグニチュード７．８の大きな地震があり、中東や南西アジアの広い範囲で揺れが感じられました。
現場は国境付近の山岳地帯で電話がつながりにくく、詳しい被害の状況は分かっていません。

アメリカの地質調査所によりますと、日本時間の１６日午後７時４４分ごろ、イランとパキスタンの国境付近を震源とするマグニチュード７．８の地震がありました。
震源地はパキスタンとの国境に近いシスタン・バルチスタン州の町、ハッシュの東南東８６キロで、震源の深さはおよそ８２キロと推定されています。
この地震でアラブ首長国連邦やインドなど中東や南西アジアの広い範囲で揺れが感じられました。
イランの国営テレビは一時、少なくとも４０人が死亡したと伝えましたが、その後、地元当局者の話として確認された死者は１人だと伝えています。
また、イランの通信社はこれまでに２０人以上がけがをしたと伝えています。
また、隣国パキスタンの震源に近い州政府の当局者は、今のところけが人などは確認できておらず、被害がないか調べているとしています。
震源はイランとパキスタンの国境付近の山岳地帯で電話がつながりにくい状況が続いているほか、停電が起きている地域もあり、詳しい被害の状況の把握には時間がかかることも予想されます。

活断層などに詳しい広島大学の中田高名誉教授は、「今回の地震の震源地付近は活断層がほとんど見あたらず、過去に大きな地震があまり起きていない地域とみられる」と話しています。
そ のうえで中田さんは、「１０年前には、今回の震源地から北西に数百キロ離れたイラン南東部のバムで、マグニチュード６．６の地震が起きて、耐震性の低いレ ンガ造りの建物が数多く倒壊し、４万人を超える犠牲者が出た。今回の地震の震源の深さは数十キロと、１０年前の地震より深いとみられるが、地震の規模は今 回の方が大きいため、周辺に市街地があれば大きな被害が出ている可能性がある」と話しています。